
TimeTracker FX

データベース移行手順書

2016 年 3 月

株式会社デンソークリエイト

目次

| | |
|--|----|
| 1 はじめに..... | 3 |
| 1.1 本資料の構成..... | 3 |
| 1.2 用語の定義など..... | 3 |
| 1.3 注意事項など..... | 3 |
| 2 移行元サーバマシンでの移行準備..... | 4 |
| 2.1 利用者に利用停止を案内する..... | 4 |
| 2.2 サーバマシンの TimeTracker FX をアップグレードする..... | 4 |
| 2.3 Server Manager でデータベースをバックアップする..... | 5 |
| 2.4 Server Manager でデータベースをアップグレードする..... | 6 |
| 2.5 移行元データファイルのコピー..... | 8 |
| 3 移行先サーバマシンでの環境構築..... | 10 |
| 3.1 SQL Server をインストールする..... | 10 |
| 3.2 TimeTracker FX をインストールする..... | 10 |
| 3.3 移行元データファイルをサーバに登録する..... | 11 |

1 はじめに

本資料は、TimeTracker FX 3.5 以前のデータベースを、SQL Server 2005 から SQL Server 2012 以降のバージョンへ移行するために必要な設定や手順を説明しています。

1.1 本資料の構成

本資料で紹介している手順は以下の通りです。

第 2 章 移行元サーバマシンでの移行準備

- 2.1 利用者に利用停止を案内する
- 2.2 サーバマシンの TimeTracker FX をアップグレードする
- 2.3 Server Manager でデータベースをバックアップする
- 2.4 Server Manager でデータベースをアップグレードする
- 2.5 移行元データファイルのコピー



第 3 章 移行先サーバマシンでの環境構築

- 3.1 SQL Server をインストールする
- 3.2 サーバマシンに TimeTracker FX をインストールする
- 3.3 移行元データファイルをサーバに登録する

※TimeTracker FX を最新バージョンへアップグレードする必要があります。


※移行元サーバマシンと移行先サーバマシンが異なる前提で説明しています。

1.2 用語の定義など


■ サーバマシン

TimeTracker FX および SQL Server をインストールするコンピュータです。

 情報アイコン… 補足情報や有用な情報を示します。

 注意アイコン… 手順の中で、特に注意すべき情報を示します。

1.3 注意事項など

 ご利用の環境によっては、本資料の手順と異なる場合がございます。

予めご了承ください。

※ このドキュメントに記載している情報 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更することがあります。

※ Microsoft、Windows その他マイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

※ その他、記載された社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

2 移行元サーバマシンでの移行準備

本章では、移行するにあたって移行元サーバマシンでの必要な手順を説明します。

⚠ 本章の操作は、サーバマシンの管理者権限をもったアカウントで操作してください。

2.1 利用者に利用停止を案内する

利用者に TimeTracker FX を利用しないように案内します。

❗ 作業中に利用者がデータを更新すると、不整合が発生するおそれがあります。

2.2 サーバマシンの TimeTracker FX をアップグレードする

以下の手順に従い、サーバマシンの TimeTracker FX をアップグレードしてください。

(1) インストーラを実行する

画面に従い、インストールを実行します。

使用許諾契約書の内容を確認し、インストール先を決定してください。

(2) セットアップタイプで[サーバマシンセットアップ]を選択する

クライアントツールに加えて、サーバマシンに必要なツールをインストールします。

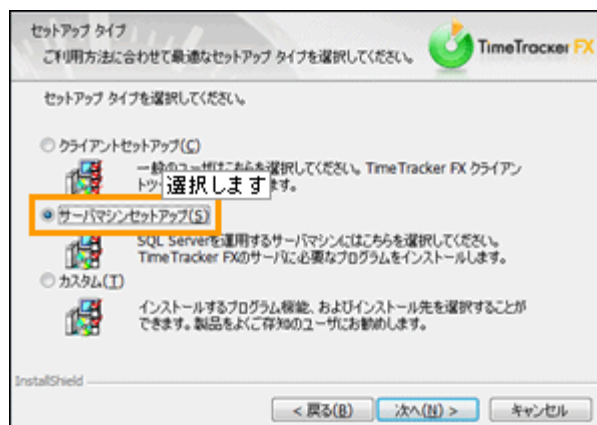


図 1 セットアップタイプ選択画面

(3) インストールを開始する

[インストール]ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

インストール対象機能に Server Manager が含まれていた場合は、インストール完了後にライセンスキー登録画面が表示されます。

メールにて送付された[プロダクト ID]と[ライセンスキー]を入力してください。

2.3 Server Manager でデータベースをバックアップする

データベースをアップグレードすると、以前の状態に戻すことができません。

問題が発生した場合に備え、データベースをバックアップします。

以下の手順に従い、データベースをバックアップしてください。

(1) Server Manager を起動する

Server Manager を起動します。

インストール時にライセンスキーが未登録の場合は、インストール後の Server Manager 初回起動時にライセンスキーの登録が必要です。

プロダクト ID とライセンスキーは、電子メールで送付されています。

(2) バックアップするデータベースの選択

[データベースの管理] から、バックアップする対象のデータベースを選択します。

(3) データベースサーバへの接続

データベースを管理するために、データベースサーバへ接続します。

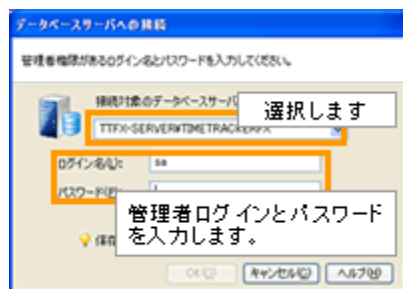


図 2 データベースサーバの選択画面

- ① ログイン名とパスワードを保存している場合、[データベースサーバへの接続] ダイアログは表示されません。

(4) データベースをバックアップする

[バックアップと復元] から [手動でバックアップする] をクリックします。

バックアップファイルの保存先を指定し、[実行] をクリックします。

2.4 Server Manager でデータベースをアップグレードする

TimeTracker FX のデータベースをアップグレードします。

アップグレード後は、TimeTracker FX 3.5 以前のバージョンでログインできません。

(1) データベース作成/更新ウィザードを開く

Server Manager を起動して、[データベースを新規に作成またはアップグレードする]をクリックし、[TimeTracker FX を最新版にアップグレードする]を選択します。

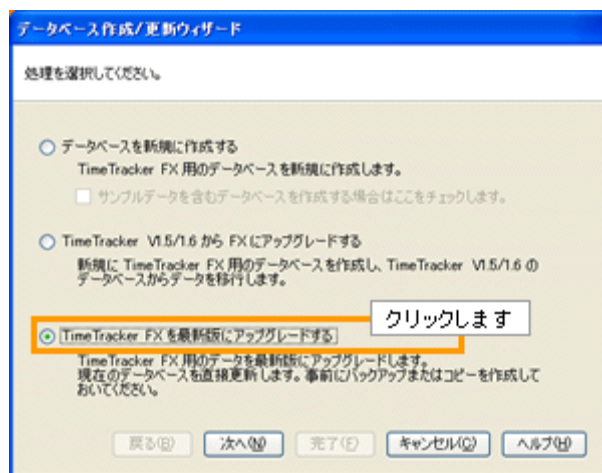


図 3 データベース作成/更新ウィザード

(2) サーバ接続情報を入力する

データベースのアップグレードに必要な情報を入力して、接続が成功することを確認します。

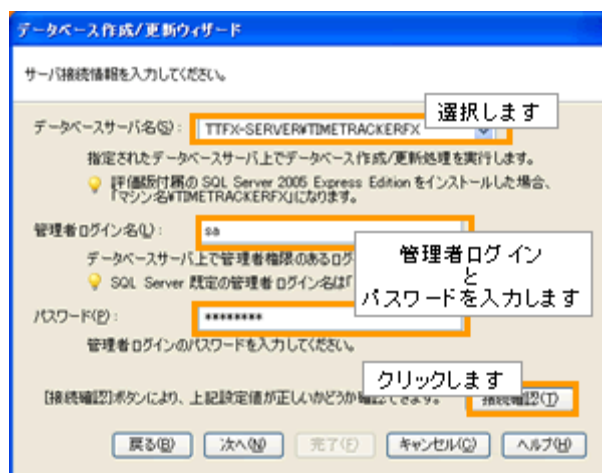


図 4 データベース作成/更新ウィザード

- ① 管理者ログインのパスワードが空白の場合は接続できません。パスワードを変更してください。
- ② [Windows 認証]では接続できません。認証モードを[混合認証]に変更してください。

④ 接続確認に失敗した場合は、以下の内容をご確認ください。

- データベースサーバ名が間違っていないか
- データベースサーバのサービスが停止していないか
- 管理者ログイン、またはパスワードが間違っていないか

(3) アップグレードするデータベースの選択

アップグレードするデータベースを選択します。

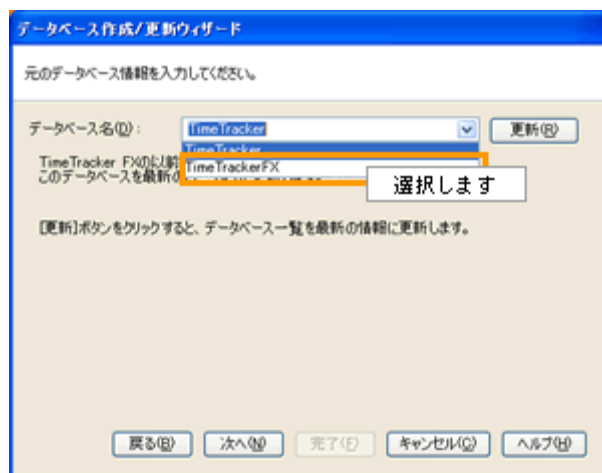


図 5 データベース作成/更新ウィザード

(4) ライセンスキーを登録する

[プロダクト ID]と[ライセンスキー]を入力します。

- ④ 登録済みの有効なプロダクト ID とライセンスキーが既定で表示されます。エディションやライセンス数等に変更がある場合は、この画面でプロダクト ID とライセンスキーを更新してください。
- ④ プロダクト ID とライセンスキーは、電子メールで送付されています。
- ④ [ライセンス情報]の[ライセンス数]、[有効期限]、[エディション]が正しいことを確認してください。

(5) アップグレードの実行

アップグレードの設定内容を確認し、[完了]ボタンをクリックします。

(6) サーバマシンで TimeTracker FX を起動する

サーバマシンで TimeTracker FX を起動し、アップグレード前の TimeTracker FX で利用していたアカウントでログインできることを確認します。

2.5 移行元データファイルのコピー

以下の手順に従い、移行元サーバマシンのデータファイルを移行先サーバマシンにコピーしてください。

(1) データベースの選択

Server Manager を起動し、[データベースの管理]から、対象のデータベースを選択します。

(2) データベースサーバへの接続

データベースを管理するために、データベースサーバへ接続します。

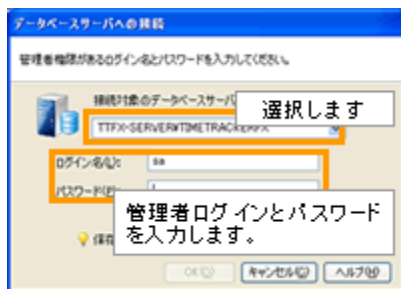


図 6 データベースサーバへの接続

- ① ログイン名とパスワードを保存している場合、[データベースサーバへの接続]ダイアログは表示されません。

(3) データファイルのフォルダを開く

[[データベース名]のプロパティ]の[データファイル]をクリックし、データファイルが保存されているフォルダを開きます。

- ① [[データベース名]のプロパティ]の[データファイル]の値をメモしておいてください。メモは後の手順で使用します。
- ⚠ [[データベース名]のプロパティ]は、データベースの登録を解除すると、表示できなくなります。

(4) データベースの登録を解除する

[データベースの登録解除と削除]の[データベースの登録を解除する]をクリックし、データベースの登録を解除(デタッチ)します。

- ⚠ 稼働中のデータベースの登録を解除しないよう十分ご注意ください。
- ⚠ 登録を解除すると、TimeTracker FX やデータベースサーバからはアクセスできません。
- ① 登録を解除したデータベースは、[データベースの作成と登録]の[既存のデータファイルをサーバに登録する]から登録できます。

(5) データファイルを移行先のサーバマシンにコピーする

[データファイルのフォルダを開く]でメモしておいたデータファイルを選択し、移行先のサーバマシンの任意のフォルダにコピーします。

以上で移行元サーバマシンでの準備は終了です。

3 移行先サーバマシンでの環境構築

本章では、移行先サーバマシンでの必要な手順を説明します。

- ❗ 「3.1 SQL Server をインストールする」、「3.2 TimeTracker FX をインストールする」の手順については、「2 章 移行元サーバマシンでの移行準備」で説明している手順と並行して実施することができます。並行して実施することで、移行作業に伴う運用停止時間を短縮できます。

⚠ 本章の操作は、サーバマシンの管理者権限をもったアカウントで操作してください。

3.1 SQL Server をインストールする

弊社ナレッジベースにて、TimeTracker FX のデータベースサーバとして利用するために必要な設定や手順をご紹介します。

ナレッジベースの内容を参考に、SQL Server をインストールしてください。

□ナレッジベース - データベースのインストール・設定方法の詳細について

http://www.timetracker.jp/support/documents/KB/#Server/KB061101_03.htm

3.2 TimeTracker FX をインストールする

TimeTracker FX のサーバマシン用アプリケーション、管理ツールなどをインストールします。

[autorun.exe]の、[TimeTracker FX をインストールする]をクリックします。

(1) インストーラを実行する

画面に従い、インストールを実行します。

使用許諾契約書の内容を確認し、インストール先を決定してください。

(2) セットアップタイプで[サーバマシンセットアップ]を選択する

サーバマシンで動作するサーバタスクの他に、Server Manager と全てのクライアントツールをインストールします。

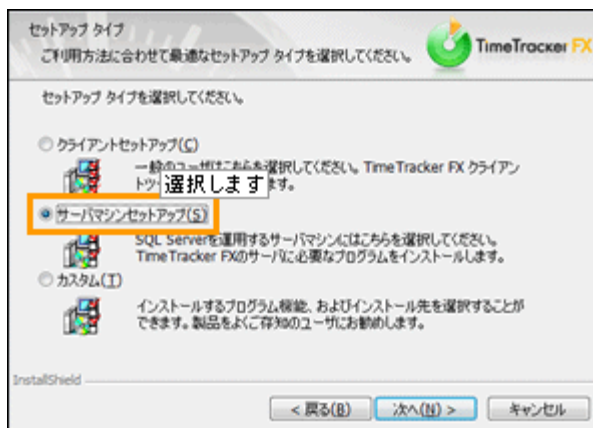


図 7 セットアップタイプ選択画面

(3) インストールを開始する

[インストール]ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

インストール対象機能に Server Manager が含まれていた場合は、インストール完了後にライセンスキー登録画面が表示されます。

メールにて送付された[プロダクト ID]と[ライセンスキー]を入力してください。

(ここで入力しない場合は、Server Manager 起動時に入力できます)

3.3 移行元データファイルをサーバに登録する

Server Manager を起動し、[データベースの作成と登録]の[既存のデータファイルをサーバに登録する]をクリックします。

(1) データベースサーバへの接続

データベースを管理するために、データベースサーバへ接続します。

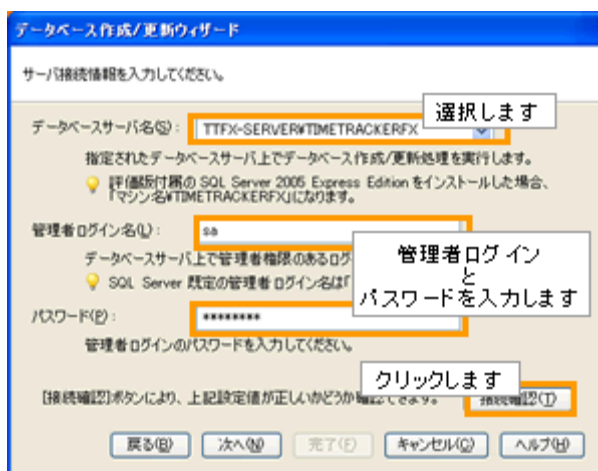


図 8 データベースサーバへの接続

(2) データファイルの選択

移行元のサーバマシンからコピーしたデータベースのデータファイルを選択します。

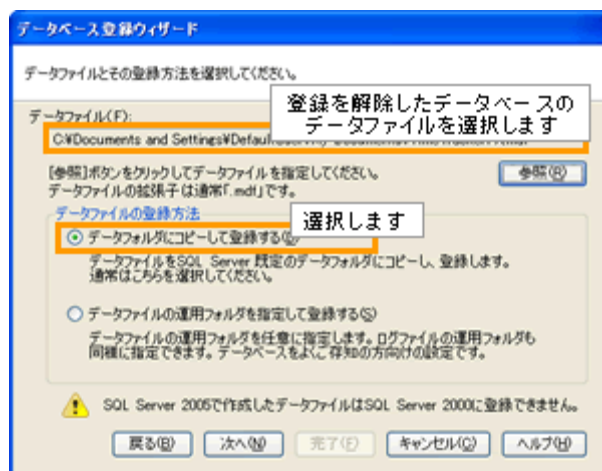


図 9 データベースファイルの登録

(3) データベース名を入力する

登録するデータベース名を入力します。登録を解除する前のデータベース名と異なる名前も設定できます。

(4) サーバ設定ファイルの出力先フォルダを指定する

[参照]ボタンをクリックして、[サーバ設定ファイル]を出力するフォルダを指定します。

サーバ設定ファイルは、TimeTracker FX のログイン時に使用します。後の手順で必要となるため、出力先フォルダは忘れないようにメモしておいてください。

(5) データベースを登録する

設定内容を確認して、データベースの登録を開始します。

(6) サーバ設定ファイルを展開する

メモしておいたサーバ設定ファイルを利用者に展開します。

以上でデータベースの移行は終了です。

移行先サーバマシンのデータベースには、TimeTracker FX 3.5 以前のバージョンでログインできません。利用者側の TimeTracker FX をアップグレードする必要があります。

TimeTracker FX 最新版の機能については、TimeTracker FX ヘルプまたは弊社製品サイトをご参照ください。
